

# 2016 ABLE ART AWARD

～ 障害のある人の芸術活動を支援する～

## 「エイブル・アート・アワード2016」

### 募集部門

1

画材支援  
の部

2

展覧会支援  
の部

3

小さなアトリエ支援  
の部

主催：NPO法人エイブル・アート・ジャパン

協賛・寄付(50音順)：花王株式会社(予定)、花王ハートポケット倶楽部(予定)、世田谷美術館さくら祭実行委員会、  
ターナー色彩株式会社、フェリシモ基金事務局 [UNICOLART基金]、富士ゼロックス株式会社(予定)、  
富士ゼロックス端数倶楽部(予定)、松田油絵具株式会社

特別協力：ガレリア・グラフィカ

協力：一般財団法人たんぼぼの家、エイブルアート・カンパニー

締切 | 2016.9.30 [金] | 必着

## エイブル・アート・アワード2016 募集のご案内

エイブル・アート・ジャパンは、障害のある人たちの芸術活動を支援するために、作家の発掘、作品発表機会の提供、サポーターの育成、著作権や所有権に関する整備などを行い、多様な表現が受容される社会づくりやアートを仕事につなげる仕組みづくりなどに取り組むNPOです。

活動のひとつとして、1998年から、障害のある作家の発掘と制作現場への資金的なバックアップを目的とした「エイブル・アート・アワード」を開催しています。

18回目となる2016年度も、作家として活躍する可能性を秘めた既成概念にとられない作品を発掘するとともに、アトリエの活動も応援します。

みなさんのご応募をお待ちしています。

## 審査員



### 小林敬生さん

版画家/多摩美術大学名誉教授

日本版画協会理事。日本美術家連盟運営委員。木口木版画を中心に制作・発表を続ける。高知国際版画トリエンナーレ審査員をはじめ、ソウル国際版画ビエンナーレ、バンコク国際版画・ドローイングトリエンナーレなどの国際審査員をつとめる。2006年、紫綬褒章を受賞。

私は「アートには何ら制約はない」と信じている。従って人がどのような環境に居ようとも、いかなる障害を抱えていようとも、芸術作品に関しては一切考慮の対象にすべきではない、と考えている。作者のメッセージが作品を通じて発信され、芸術作品として昇華されているならば、その作品こそ素晴らしい!!

私はそんな作品に出逢える事を楽しみにしている。



### 佐藤直子さん

横浜市民ギャラリーあざみ野学芸員

公益財団法人横浜市文化芸術振興財団職員。横浜美術館学芸教育グループ(当時)、横浜市民ギャラリーを経て、2014年より横浜市民ギャラリーあざみ野勤務。フェローアートギャラリーのほか、「あざみ野コンテンポラリー」、「あざみ野フォト・アニュアル」などの企画展シリーズを担当。

前年度の審査では、エネルギーに満ちた多くの作品を目の当たりにしました。様々な応募作の中から、その人しか成し得ない突出した表現を見つけたときの高揚した気持ちは、未来の鑑賞者に先んじて得られる役得でもあります。と同時に、表現という人間の根っこにある精神を露わにする行為に対して、審査・評価をする責任も感じています。今年も多くの意欲作に出会える日を楽しみに、気を引き締めて臨みたいと思います。



### 中津川浩章さん

美術家/アートディレクター/フリーキュレーター

国内外で、個展やグループ展多数。工房集・アール・ド・ヴィーヴル、2012-2014年度埼玉県障害者アート展アートディレクター、川崎岡本太郎美術館「岡本太郎とアールブリュット」展キュレーター、2016年ビッグアイアートプロジェクト、2015、16年東北障がい者芸術公募展選考委員等を務め、社会とアートの関係性を問い直しながら活動している。

選考では、作品の選び方や写真のクオリティによって作家の評価がかなり変わります。作品のセレクトや撮影に施設のスタッフなど第三者の目線が入ることによってその作家の個性やよいところははっきりと見えてくる場合があります。写真の紙質も含めて「どのように見せるのか」を考えましょう。そうした小さな積み重ねによって、障害者アートと健常者のアートという垣根が取り払われることを夢見ます。素敵な作品をお待ちしています。



### 真住貴子さん

国立新美術館 主任研究員

東京芸術大学大学院修了。島根県立美術館、同県立石見美術館に学芸員として勤務。文化庁芸術文化調査官を経て、2015年3月より国立新美術館教育普及室長。

描きたい、作りたい、という気持ちにあふれた新鮮な作品に出会えるのを楽しみにしています。

## 応募要項

### 募集内容

### 1 画材支援の部

- ・マツダ賞 2名
- ・ターナー色彩賞 (個人) 2名 (グループ) 2団体

これから絵を描きたいと考えている人も、ますます活動に打ち込みたい人にも画材を提供します。

### 応募資格

障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている、行おうとしている個人またはグループ。

### 支援内容

- ・マツダ賞 油絵具 1セット



MATSUDA

- ・ターナー色彩賞 (個人) アクリルガッシュ 20ml 36色セット (グループ) イベントカラー 550ml・スパウトパック BOXセット



ターナー色彩株式会社

表現活動をしたいという意欲ある個人またはグループであること。

### 選考基準

### 注意事項

### 2 展覧会支援の部

1名

国内外のギャラリーや美術館で発表し活動の飛躍をめざしたい人に、銀座/ガレリア・グラフィカ bis における展覧会の開催を支援します。

障害のある人で、絵画や立体造形などの創作活動を行っている個人。

### 個展の開催支援

- ・ギャラリーの借り上げ費用
- ・展覧会の企画全般(作品の選定、額装、展示などの提案)を行うコーディネータの派遣費用
- ・案内ハガキの作成費用
- ・エイブル・アート・ジャパン関係者へのPR、マスコミへのPR
- ・展覧会開催に関する人的支援(展示・撤去作業、会期中のスタッフの配置)

個展詳細

会期: 2016年12月19日(月) - 24日(土) 6日間

会場: ガレリア・グラフィカ bis 東京都中央区銀座6-13-4 銀座S2ビル1階

galleria grafica bis

独創的で豊かな表現力に満ちた作品を生み出す作家であること。展覧会を開催するための作品数を所有していること。

額装費用、作品の搬送費用、作家や関係者の交通費など、上記以外の費用は作家側に負担していただきます。あらかじめご了解のうえ、ご応募ください。

### 3 小さなアトリエ支援の部

1団体

自宅でもなく学校・職場でもない第3の居場所 'サードプレイス' として、障害のある人が参加・活動できるアトリエを運営する団体に活動資金を提供します。

障害のある人が参加・活動できるアトリエ。個人や有志の運営するアトリエ。

### 活動費 30万円

### UNICOLART

\* この部門は、フェリシモ基金事務局 [UNICOLART 基金] により開設いたしました。基金を通じて小さなアトリエネットワークをつくり、表現活動の活性化や次世代アーティストの育成に広がります。

次世代を担うアーティストを育成し、社会に影響を与える可能性のあるグループであること。

- ・社会福祉法人やNPO法人などが社会福祉事業の支援費により運営しているアトリエは対象外です。
- ・対象は【造形活動】を実施するアトリエとし、音楽、演劇、ダンス、文学、映画、ファッション、伝統芸能などのはのぞきます。

## 画材支援の部 (ターナー色彩賞)

### NPO 法人 障害者アート支援工房ココペリ (富山県富山市)

支援学校の教員たちが中心となり、ワークショップ形式の制作活動や、県内外の方々との作品交流を行っています。昨年、県内のボランティアセンターからエイブル・アート・アワードを紹介され、応募要項の「自宅でもなく学校・職場でもない第3の居場所としてのアトリエ」という言葉が自分たちにぴったりだと思い、応募しました。賞品の画材が届くと、早速、作家の一人が魚の絵を大きな段ボールに描きました。年末には地元の神社に飾る大絵馬を描く予定です。

このアワードは、私たちのような小さなグループにはとても心強い支援だと思います。あなたも、障害のある作家さんや作品を世の中に送り出しませんか。



## 展覧会支援の部

### 溝上強さん (長崎県佐世保市)

エイブル・アート・アワードは母にすすめられて応募しました。受賞した時は、母と抱きあって喜びがありました。今後、自分はどうか分かりませんが、でも、地元でしか、活動してない私にとって大きな自信につながりました。

また、エイブル・アート・アワードを通じてたくさんの方に支えてもらっている事を実感しました。都会で、個展が出来る感動を味わってほしいです。ぜひチャレンジしてください。

## 受賞者の声

2015年度の受賞者から届いた  
メッセージの一部をご紹介します。

## 画材支援の部 (マツダ賞)

### 木下将之将軍さん (神奈川県茅ヶ崎市)

僕は、自分の実力を試してみたかったので、エイブル・アート・アワードに作品を出しました。実際に受賞できて大体の僕の実力がわかった気がします。

これからは、日本にある有名な物を描いていきたいと思っています。今は奈良の大仏を描いています。

受賞して頂いた油絵具は、今まで僕が使っていた水彩絵の具とは違って難しかったけれど、富士山の絵を描きました。これから応募される方も頑張ってください。僕も頑張っているから、実力を試してください。



## 小さなアトリエ支援の部

### NPO 法人アール・ド・ヴィーヴル (神奈川県小田原市)

小田原の地で地域に住む障がいのある子どもから大人までを対象に、アートワークショップを行っています。

アトリエがみなさまにとって心地よい空間であること、自分らしく創作活動を楽しめる場であることを、一人でも多くの方に知っていただける機会になればと思い、エイブル・アート・アワードに応募しました。

受賞の吉報に参加者から拍手が湧き起り、スタッフ共々喜びをわかちあいました。この受賞を機にアート活動を積極的に発信していく自信がもてました。

## 応募方法のご案内

**応募締切:**  
**2016年9月30日(金) 必着**

## 応募方法

1. 募集案内中面の「応募票」をコピーして必要事項を記入してください。
  2. 代表的な作品の写真を10点以上添えてください。作品の写真1枚につき、A4サイズの用紙1枚を使用して、写真をのりで貼り、作品の作者名・タイトル・サイズ・素材・制作年を記入してください。(画集などを提出されても結構です)
  3. 「**3**小さなアトリエ支援の部」の応募者は、活動の写真を3点以上添えてください。
- \*ご提出いただいた資料はお返しできませんのでご了承ください。

## 応募条件

- 「**1**画材支援の部」受賞者への画材の贈呈、「**2**展覧会支援の部」受賞者の展覧会の開催、「**3**小さなアトリエ支援の部」受賞者への資金の提供は2016年12月を予定しています。
- 応募作品は返却いたしません。
- グループやアトリエの応募に際しては代表者の同意を得たうえで応募ください。
- 応募作品または受賞作品は、主宰者または協賛者が実施する展示会、出版物などで展示・掲載・出版等されます。また、新聞、雑誌、テレビ、ウェブサイトなど広報活動、本アワードに関する報告資料・記録資料等に無償にて利用させていただく場合があります。
- ご記入いただいた個人情報に関しては、受賞の連絡及び個人を特定しない統計として利用させていただき、ご本人または代理の方の同意なしに第三者へ開示いたしません。また、受賞した場合には、受賞者の写真を氏名・年齢・居住地(都道府県まで)等とともに展覧会、ウェブサイト等において公開することがあります。

## 発表

選考は2016年10月中旬に行い、選考結果は10月下旬に郵送にてお知らせします。  
NPO法人エイブル・アート・ジャパンのウェブサイトでも発表します。

## 応募先

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-11-14 アーツ千代田3331 #208  
NPO法人エイブル・アート・ジャパン 「エイブル・アート・アワード2016」事務局宛

## お問合せ

NPO法人エイブル・アート・ジャパン  
TEL. 03-5812-4622 FAX. 03-5812-4630 E-mail: office@ableart.org

**エイブル・アート・アワード2016  
ウェブサイト**

\*7月13日より「応募票」のダウンロードができます。

<http://www.ableart.org>

ABLE  
ART  
JAPAN

必要な枚数をコピーして、関連資料とともにご提出ください。

応募する部門の□に✓をつけてください。

個人の方の①と②の複数応募、グループの方の①と③の複数応募が可能です。

1.画材支援の部 希望する賞を選択してください  マツダ賞  ターナー色彩賞(個人)  ターナー色彩賞(グループ)

2.展覧会支援の部  3.小さなアトリエ支援の部

お名前(ふりがな) \*グループの場合は施設名・アトリエ名など

年 生まれ

\*グループの場合

年 設立

代表者名 \*グループの場合のみ

住所 \*グループやアトリエの場合は、代表者または所在地

〒

TEL.

FAX.

メールアドレス

作品内容

絵画 ・ 立体造形 ・ その他 ( )

活動形態 \*グループの場合のみ

法人施設内のグループ ・ 個人、有志の運営するアトリエ ・ その他 ( )

活動場所

施設内スペースを使用 ・ 公的施設を借用 ・ 個人の所有スペースを使用 ・ その他 ( )

活動の状況(個人の方は※印の部分のみご記入ください)

●創作グループの構成員 受講者人数( )人 ・ 指導者(リーダー)人数( )人 ・ ボランティア人数( )人

●年齢構成※ ( )歳 ~ ( )歳

●障害などについて※ 身体障害者[視覚障害・聴覚障害・肢体不自由・内部疾患]( )人 ・ 知的障害者( )人

精神障害者( )人 ・ その他の障害者( )人 ・ 健常者( )人

●活動回数※ 1週間に( )回 ・ 1ヶ月に( )回 ・ その他( )

●活動時間※ 1回あたり( )時間

●活動の年間予算規模※ ( )円

活動履歴(制作活動のきっかけやその後の活動履歴、出展歴や受賞歴などがあれば記入してください、添付でも可。)

この募集をどのようにして知りましたか。あてはまる項目に✓をつけてください。

チラシ \*どこで入手、どのように入手( )  ウェブサイト  フェイスブック

その他( )

代表的な作品の写真を10点以上、③小さなアトリエ支援の部の応募者は追加資料として活動の写真を3点以上添えてください。詳しくは裏面の応募方法をご確認ください。